

### CONTENTS

2016年5月  
No.151

エンテロウイルスD68型の流行	1~2
腸チフスについて	3~4
植物プランクトンにズームイン	4~6
4Kの放射線測定	6~7
祝学位取得	7
保環研だより(5月号)執筆者、タイトル	8
平成28年1月~4月までの研究業績(予定を含む)	8



## エンテロウイルスD68型の流行

### 1. エンテロウイルスD68型とは

エンテロウイルスは腸管内で増殖するウイルスの総称で、子供の間で流行する手足口病の原因ウイルスであるコクサッキーウイルスA16型やエンテロウイルス71型、定期の予防接種が行われているポリオウイルスがよく知られていますが、ヒトに感染症を起こすエンテロウイルスは64種類以上あり、感染しても症状のない例から発熱や咳を伴ういわゆる夏かぜや無菌性髄膜炎といった神経系の症状を引き起こす例まで様々です。

エンテロウイルスD68型は1962年に米国で下気道炎患者から検出されたウイルスで、2009年までは検出報告はわずかでしたが、2009年以降は2-3年間隔で世界各地で小流行が認められていました。そして、2014年に米国やカナダで大流行し、本ウイルスが注目されるようになりました。米国では2014年8月から2015年1月に1153人の呼吸器疾患患者からエンテロウイルスD68型が検出されました。乳幼児や子供が発症しやすく、大人では症状が出なかったり、

軽症で済む場合が多かったようです。臨床症状としては発熱やくしゃみ、鼻水といった軽症から気管支炎や肺炎、呼吸困難にいたるような重症例まで様々でした。さらにこの流行の最中の8月~9月に急性弛緩性麻痺例9例からエンテロウイルスD68型が検出され1)、麻痺とウイルス感染との関連性が疑われるとともに、日本での本ウイルスの流行が危惧されてきました。

### 2. 日本におけるエンテロウイルスD68型の検出状況

図は全国の地方衛生研究所から国立感染症研究所に報告されたエンテロウイルスD68型の検出報告数を月別にまとめたものです。2005年~2007年までは年間数例しか検出されていませんでしたが、遺伝子検査の普及など検査法の向上もあり、2010年129例、2013年122例と9月をピークに夏から秋にかけて多く検出されました。そして、去年は28都府県から258例が報告され、流行が確認されました。検出の













## 保環研だより(5月号)執筆者、タイトル

- 1) ウイルス科 飯塚 節子 エンテロウイルスD68型の流行  
(H28.3.31 退職)
- 2) 細菌科 川瀬 遵 腸チフスについて  
(H28.4.1 食肉衛生検査所に異動)
- 3) 水環境科 野尻由香里 植物プランクトンにズームイン  
(H28.4.1 廃棄物対策課に異動)
- 4) 原子力環境センター 生田美抄夫 4Kの放射線測定

## 平成28年1月~4月までの研究業績(予定を含む)

学会・研究会・研修会等の口頭発表

- 1) 原子力環境センター  
平成28年1月8日、9日 日本大気電気学会第94回研究発表会(東京都)  
生田美抄夫 島根原子力発電所周辺における冬季雷雲からの放射線バースト
- 2) 細菌科  
平成28年2月19日 平成27年度島根県食品衛生監視員研究発表会(松江市)  
川上 優太 割置き保管したウズラ卵におけるサルモネラの増殖態度
- 3) ウイルス科  
平成28年2月26日 平成28年度日本獣医学会獣医学術学会年次大会(秋田)  
辰己 智香 本邦で初めて分離されたヒトアデノウイルス57型(HAdV57)

祝  
学  
位  
取  
得



当研究所に所属して研究を行った、益田保健所の宮廻隆洋さんが「斐伊川汚濁負荷量の実態把握に関する研究」と題した論文で島根大学より理学博士号を取得されました。本論文は4つの査読付論文で構成されており、その内の英文1報は「Limnology and Oceanography」に掲載され、この雑誌のインパクトファクターは3.9です。地方公務員が筆頭著者であるのは日本では初めてのことです。宮廻さんの今後の活躍を期待しています。おめでとうございます。

編集発行：島根県保健環境科学研究所  
発行日：平成28年5月

松江市西浜佐陀町 582-1 (〒690-0122)

TEL 0852-36-8181 FAX 0852-36-8171

E-Mail [hokanken@pref.shimane.lg.jp](mailto:hokanken@pref.shimane.lg.jp)

Homepage <http://www.pref.shimane.lg.jp/hokanken/>

